

【テーマ】羽島市の防災（水害対策）について

	羽島市の水害の特徴	避難・備蓄品について	ハザードマップについて
記録用紙	<ul style="list-style-type: none"> ・予測可能。 ・土石流の被害が想定されず、ゆっくりとした浸水となる。 ・3m浸水した場合、水が引くのに1週間から10日かかる。（国交省HP水害シミュレーション） <p>→よって備蓄3日では足りない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨注意報で避難準備開始、大雨警報で行動に移す。 →警戒レベル3（動かないといけない）、警戒レベル5（動く）、警戒レベル5（避難） ・いつ逃げるか決めておくことが大切。 ・住民は「怖い」から避難所で行くので、行政はこまめに避難所を開設すべき。 ・昭和51年以降、大きな水害がないため、避難方法がわからない方が多い。 ・水害の場合、高い位置に避難する必要があるため、どこの避難所に避難すればよいか地域で日ごろから語り合うことが大切。 ・水害対策として、備蓄品を高い所へ保管する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・10年位前に岐阜羽島駅近郊のセブンイレブン付近で、浸水で車をだめにした知人がいる。 ・ハザードマップがわかりづらいので、雨の降水量からわかるハザードマップがあればよい。 ・ハザードマップは、L1（河川整備において基本となる降雨）、L2（想定し得る最大規模の降雨）がある。 ・川のどこで切れるかが重要。 ・岐阜市は地区割で公表している。 ・国土交通省ホームページで長良川、木曾川がどう水が広がり、引いていくか、シミュレーションできる。
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・9月20日に所管課と勉強会を開催し、意見交換会で出た意見に関連する市の事業等の現状を把握する。 ・10月9日から11日にかけて行政視察を行い、先進地事例を調査する。 ・勉強会と行政視察等を実施した後、年度末に報告書を作成し、意見交換会で出た意見に対する対応方針を決定する。 		